

広報課からのお知らせ

**テレビ** テレビ和歌山 WTV

**きのくに21** 日曜 9:30・(再) 18:00  
6月 6日 障害者スポーツ大会  
6月 13日 新しく農業を始める方へ  
6月 20日 アビリンピック和歌山  
6月 27日 知事と語る

**県民チャンネル**  
月・火・木・金・土曜 21:55  
**マンスリー県政 ニュースワイド**  
毎月最終金曜 19:30

**ラジオ** 和歌山放送 WBS

**県庁だより** 毎日 11:40・(再) 18:00  
※土・日曜は再放送がありません。

**ラジオでお届け! 県政最前線** 火曜 15:40  
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

山青し 海青し 文化は輝く

## 紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会  
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

### 「PR動画」を公開中!

現在、本文化祭の公式WEBサイトや、和歌山県のYouTube公式チャンネル「Wakayama Pref」などにより本文化祭のPR動画を公開しています。

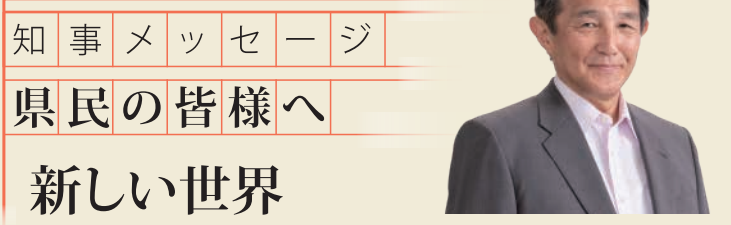
**動画内容**

- 本文化祭と和歌山県の魅力の紹介
- 県内の文化団体による文化の魅力の紹介
- モデルの本谷紗己さんによる文化の魅力体験
- 声優の中島由貴さんと桜文鳥「ちゅんちゅん」による文化祭の内容の紹介

の4種類となっておりますので、ぜひ左下のQRコードを読み取っていただき、ご視聴ください!

**問** 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局  
☎073-441-2570 FAX073-423-7120  
紀の国文化祭

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032



今、世界はコロナの猛威のもとに青息吐息、和歌山県も変異株のあまりのうつりやすさの前に、従来の方法では持ちこたえられなくなって、ずっと言ってなかった一般的な不要不急の外出をお願いせざるを得なくなっています。ただ、我々はコロナ後の世界がどうなるかも見通して将来にも備えなければなりません。

私は、この一年近くずっと、コロナ後の新しい世界はこうなると思ってきましたが、それは①東京一極集中が崩れ始める。②低コスト一辺倒で海外に流出した生産基盤が一部国内に戻る。③オンライン及びこれを利用したデジタル化の波がもっと広範になる。というものでした。

いずれも、和歌山県が上手く対応すれば、和歌山県の発展のためのチャンスだとも考えられます。しかし、和歌山県が手をこまねいて待っているだけなら、チャンスは他所に行ってしまいます。

①については、テレワークが意外に上手くいったので、都心の一等地に高コストのオフィスを持って人を集めなくてもというのが背景ですが、黙っていても進むのは東京から同心円的に周辺部に人々が移るといことで、和歌山のような離れたところに来てもらうには、よほど和歌山の「ニューライフ&ワーク」が魅力的かを訴えて、営業活動をしないといけません。

②も、インフラ、用地などを整えて回帰すべき所は日本の中で何故和歌山かということを書いて、企業に営業活動をしないといけません。

③は、オンラインを使って広範な分野でずっと効率的、効果的に成果を挙げ得る方法を考えなければなりません。

コロナで移動も大変な時ですが、和歌山県が営業活動を躊躇している余裕はありません。

また、今までに手がけてきた成長の源であるIR、ロケット、ICT企業の集積、ワーケーションなどを頓挫させることなく仕上げていかなければなりません。コロナで新しい世界が現れてくる今こそ、チャンスをごちらに引き寄せるために必死で頑張らなければならないのです。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率  
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用  
・塗工量  
70%以上  
30g/m以下

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。